



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月25日

上場会社名 キムラユニティ株式会社
コード番号 9368 URL <https://www.kimura-unity.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 成瀬 茂広
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長管理本部長 (氏名) 小山 幸弘
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
TEL 052-962-7053

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	45,334	3.0	3,231	26.7	3,841	23.1	2,501	28.3
2023年3月期第3四半期	44,035	5.4	2,549	14.1	3,121	13.8	1,949	14.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 4,291百万円 (25.4%) 2023年3月期第3四半期 3,422百万円 (23.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	113.26	
2023年3月期第3四半期	85.30	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	59,509	37,458	59.6	1,639.77
2023年3月期	57,770	35,114	57.9	1,507.55

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 35,443百万円 2023年3月期 33,453百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		15.00		27.00	42.00
2024年3月期		25.00			
2024年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	1.5	3,600	10.1	4,200	5.9	2,800	13.3	123.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	23,543,800 株	2023年3月期	23,543,800 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,928,908 株	2023年3月期	1,353,498 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	22,085,700 株	2023年3月期3Q	22,847,782 株

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したこともあり、社会・経済の正常化が進み企業業績は緩やかな回復基調を維持しました。一方で、急速な円安による国内経済への影響や物価高が懸念材料となり、先行きが不透明な状況のまま推移しております。また、長期化するロシア・ウクライナ問題に加え、中東情勢が緊迫化するなど不安定な状況が継続するなか、欧米を中心とした経済・金融政策の影響等、景気減速リスクは依然として高く、国内外ともに引き続き不透明な状況であります。

また、当社グループと関係の深い自動車業界においては、半導体等の部材不足の緩和に伴い改善に転じたものの、国内では人手不足の問題や急激な資源価格高騰・賃金上昇等予断を許さない状況が続いております。海外では米中貿易摩擦やロシア・ウクライナ問題の長期化による物価高騰懸念等、依然として先行き不透明な状況であります。

このような環境の中で当社グループにおきましては、昨年度と同様に「年輪経営（増収増益）を着実に実行」し、「皆が「正常進化」を着実に遂げる-現状に甘んじることの否定-」をグループ方針に掲げ、これまで築いてきた「全員参加によるOne Team 経営」をベースに、現状に甘んじることなく、更なるお客様への貢献に向けて、自ら変えることができる「正常進化」こそ、「中期経営計画2023」達成に不可欠であると考え、取り組みを進めております。

当期の業績につきましては、物流サービス事業における受注量の増加等により、売上高は45,334百万円（前期比3.0%増収）となりました。営業利益は、増収に加え生産性向上の推進等により、3,231百万円（前期比26.7%増益）、経常利益は、3,841百万円（前期比23.1%増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2,501百万円（前期比28.3%増益）となり、3期連続の増収・増益となりました。

なお、主なセグメント別の売上高（セグメント間の内部売上を含む）、営業利益の状況は次の通りであります。

①物流サービス事業

売上高は、国内の物流サービス事業及び中国子会社広州広汽木村進和倉庫有限公司における受注量の増加等により、32,054百万円（前年同期比1.2%増収）となりました。営業利益は、売上高の増収に加え、現場第一線での日々決算活動の推進による収益力向上等により、3,646百万円（前年同期比20.7%増益）となりました。

②自動車サービス事業

売上高は、車両販売事業における販売台数の増加等により、10,887百万円（前年同期比3.7%増収）となりました。営業利益はカー用品販売事業の収益改善の効果等もあり、615百万円（前年同期比10.1%増益）となりました。

③情報サービス事業

売上高は、主要顧客からの受注量の増加等により、1,604百万円（前年同期比26.8%増収）となりました。営業利益は外注委託費の増加等により、170百万円（前年同期比2.3%減益）となりました。

④人材サービス事業

売上高は、市場の人材獲得競争の中、エリア貢献の拡販（中部、関西、関東への展開）実現に向けて積極的な拡販活動や新規顧客の獲得に注力したこと等により、1,331百万円（前年同期比18.5%増収）となりました。営業利益は売上高の増収等により、26百万円（前年同期比772.4%増益）となりました。

⑤その他サービス事業

売上高は、売電サービスにより、36百万円（前年同期比1.3%増収）となりました。営業利益は売上高の増収等により、12百万円（前年同期比5.6%増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は59,509百万円となり、前連結会計年度末に比較して1,739百万円の増加となりました。その主な要因は、投資その他の資産が投資有価証券の増加等により1,360百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は22,050百万円となり、前連結会計年度末に比較して605百万円の減少となりました。その主な要因は、賞与引当金の減少等により流動負債が1,462百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比較して2,344百万円増加の37,458百万円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末比1.7ポイント上昇の59.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年4月27日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,728	10,001
受取手形、売掛金及び契約資産	9,733	9,684
リース投資資産	6,639	6,325
商品及び製品	541	519
仕掛品	39	30
原材料及び貯蔵品	289	471
その他	1,022	1,131
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	27,993	28,162
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,530	8,658
機械装置及び運搬具（純額）	590	641
賃貸資産（純額）	502	487
土地	6,841	6,867
リース資産（純額）	633	537
建設仮勘定	53	22
その他（純額）	1,948	2,135
有形固定資産合計	19,099	19,351
無形固定資産		
のれん	12	-
その他	1,121	1,091
無形固定資産合計	1,133	1,091
投資その他の資産		
投資有価証券	5,456	6,460
繰延税金資産	173	101
その他	3,916	4,344
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	9,543	10,904
固定資産合計	29,777	31,346
資産合計	57,770	59,509

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,011	1,167
短期借入金	975	1,099
1年内返済予定の長期借入金	2,000	1,000
未払金	2,652	2,167
未払費用	3,598	4,020
リース債務	652	760
未払法人税等	629	644
賞与引当金	1,339	531
役員賞与引当金	30	30
その他	941	944
流動負債合計	13,830	12,367
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	1,000	2,000
長期未払金	4,047	3,840
リース債務	1,217	1,223
退職給付に係る負債	10	7
繰延税金負債	274	532
再評価に係る繰延税金負債	874	874
その他	400	204
固定負債合計	8,825	9,683
負債合計	22,656	22,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,596	3,596
資本剰余金	3,430	3,440
利益剰余金	24,487	25,834
自己株式	△1,058	△1,860
株主資本合計	30,456	31,011
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,542	2,216
土地再評価差額金	534	534
為替換算調整勘定	1,155	1,866
退職給付に係る調整累計額	△236	△185
その他の包括利益累計額合計	2,996	4,432
非支配株主持分	1,661	2,015
純資産合計	35,114	37,458
負債純資産合計	57,770	59,509

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	44,035	45,334
売上原価	35,880	36,249
売上総利益	8,155	9,085
販売費及び一般管理費	5,605	5,853
営業利益	2,549	3,231
営業外収益		
受取利息	47	59
受取配当金	81	99
持分法による投資利益	326	435
為替差益	137	69
その他	51	35
営業外収益合計	644	699
営業外費用		
支払利息	52	79
その他	20	10
営業外費用合計	73	89
経常利益	3,121	3,841
特別利益		
固定資産売却益	4	4
特別利益合計	4	4
特別損失		
固定資産除売却損	26	23
契約解除損失	9	-
その他	0	-
特別損失合計	36	23
税金等調整前四半期純利益	3,089	3,822
法人税、住民税及び事業税	862	1,085
法人税等調整額	66	20
法人税等合計	928	1,106
四半期純利益	2,160	2,716
非支配株主に帰属する四半期純利益	211	215
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,949	2,501

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,160	2,716
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△181	673
為替換算調整勘定	1,314	736
退職給付に係る調整額	71	50
持分法適用会社に対する持分相当額	57	112
その他の包括利益合計	1,261	1,574
四半期包括利益	3,422	4,291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,993	3,936
非支配株主に係る四半期包括利益	428	354

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2023年11月28日開催の取締役会に基づき、自己株式601,600株を822百万円で取得いたしました。

これにより、当連結累計期間において自己株式が822百万円増加しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流サー ビス事業	自動車サー ビス事業	情報サー ビス事業	人材サー ビス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	31,646	10,462	1,266	623	43,999	36	44,035	-	44,035
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	35	-	500	549	-	549	△549	-
計	31,660	10,497	1,266	1,124	44,548	36	44,585	△549	44,035
セグメント利益	3,021	558	174	3	3,758	11	3,770	△1,220	2,549

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. セグメント利益の調整額△1,220百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,223百万円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流サー ビス事業	自動車サー ビス事業	情報サー ビス事業	人材サー ビス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	32,042	10,852	1,604	797	45,297	36	45,334	-	45,334
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	34	-	534	580	-	580	△580	-
計	32,054	10,887	1,604	1,331	45,878	36	45,915	△580	45,334
セグメント利益	3,646	615	170	26	4,459	12	4,471	△1,239	3,231

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. セグメント利益の調整額△1,239百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,242百万円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。